

堺

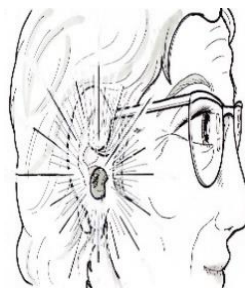
11月定例市議会 国への意見書

採択

堺市議会最終日の12月20日、「加齢性難聴者に対する補聴器購入に係る公的支援制度の創設を求める意見書」が提案会派を代表し公明党が提案趣旨説明をし、賛成多数(30対17維新)で可決されました。 ※維新1名欠席

提案会派は、公明党(1)、自由民主党・市民クラブ(7)、堺創志会(5)、日本共産党(5)、無所属会派(1)。指定都市では(20市)、静岡市、京都市に次いで3番目です。意見書では、国に補聴器購入公的補助制度の創設を求めるとともに現在の補装具支給制度は重度障害者が対象であり制度の見直しにも言及しています。

年金者組合堺ブロックは、府本部作成の「補聴器資料集」を全議員に手渡し協力要請をしました。



大阪年金者組合

聞こえのバリアフリーを!

補聴器助成推進ニュース

2023.12.20 3号 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館6階
TEL06-6354-7207 FAX06-6354-7746



訂正

19日付け2号(熊取町)の3行目「提案会派は」は「請願紹介議員は」の誤りでした。

東京民報

聞こえの研究者・実践者杉山光勇氏

「聞こえの話しシリーズ」 ② 12月10

会議案内

- ・市町村独自の補聴器助成採択自治体支部対策会議
- ・2024年1月30日(火)13.30～
- ・グリーン会館6階会議室
- ・内容 市町村独自補助を勝ち取る対策
- ・対象 松原市、忠岡町、河内長野市
大阪狭山市、河南町、東大阪市、熊取町

聞こえの話②

言葉を脳で聴く

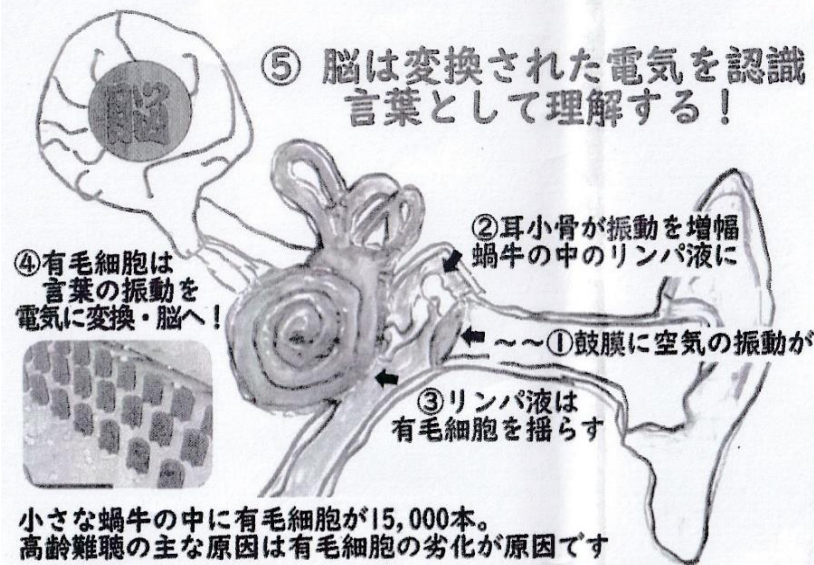
みなさんは、「ヒトの言葉」がどうして理解できるのかを考えたことがありますか。

- ① ヒアリング(磁気)ループ普及を通じて、難聴者サポートに取り組み始めたのが2019年。ここ数年、ようやくその仕組みが理解できるようになり、「聞こえ」という言葉を使っています。イラストを見てください。
- ② 「耳小骨」は鼓膜振動を多少大きくして「蝸牛」の中のリンパ液を揺らす。
- ③ リンパ液は蝸牛の中の「有毛細胞」を揺らす。
- ④ 有毛細胞は振動を電気に変換、脳に伝える。
- ⑤ 変換された電気を脳が認識して言葉として初めて理解される。

補聴器に慣れる

補聴器を使い始めた時は、まったく違う音が飛び込んできて脳が理解しきれない(うるさい)場合が多くあります。3ヵ月から1年の訓練とトレーニングが必要になることは、聞こえと補聴器補助問題に取り組むときに忘れてはならない課題です。(日本共産党元台東区議・杉山光勇)

⑤ 脳は変換された電気を認識 言葉として理解する!



小さな蝸牛の中に有毛細胞が15,000本。高年齢難聴の主な原因は有毛細胞の劣化が原因です